

可

五年  
オシカ  
可

成り立ち



「号 (年302)」と同じ成り立ちの字で、「口」と「可」を組み合わせて作った字です。

「口から大きな声が出る」ことを表した字です。それは、気分が良いからで、「よし」ということを表したもので

す。

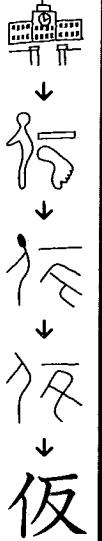
「よい」とみとめる意味にも使われます。例認可、

許可、可決、可否、不可。

「できる」という意味にも使われます。例可能、可燃物、可視光線。

假

五年  
画数  
5  
筆順  
画数  
6  
成り立ち  
オシカ  
可



成り立ち

標準線を意味する「一」の下に、下向きの足の形を表した「タ」を加えた「反」と、「イ」とを組み合わせて作った字です。

「下降している人」という意味を表した字です。

人は下降することがあっても、長い間には必ず向上するものです。下降するのは「一時的」な現象であって、

「ほんとう」のすがたではありません。それで、「一時的」「ほんとうでない」「かり」という意味を表したもので、例仮説、仮称、仮名、仮眠、仮病。

〔旧字体は、假で、粗糲の意味の「瑕」と「イ」との

会意・形声字で、「まだ磨かれてない人」という意味の字である。〕

使い方

六年

△おかあさん、友だちの家へ遊びに行く許可をもらつてから、でかけました。許可を受けずに行くと、あとで、しかられるのです。帰りがおそくなると、心配するので、無理もないとは思います。

△人間は、不可能だと思われることを、次々と可能にしてきました。人間の歴史は、努力の歴史です。

△おかあさん、友だちの家へ遊びに行く許可をもらつてから、でかけました。許可を受けずに行くと、あとで、しかられるのです。帰りがおそくなると、心配す

るので、無理もないとは思います。

△（役所などが、よいと認めること。）

△（頼みなどを、よいと許すこと。）

△（会議で、議案をよいと決めること。）

△（よいか悪いか。また、可決と否決。「判定」の可否をめぐつて、討議が続いたなどというふうに、つかいます。）

△（いけないこと。「可もなく不可もなし」と言えば、「良くもなければ悪くもない」という意味です。）

△（できること。）

△（火に燃えやすい物。）

△（肉眼で見える光線。）

使い方

△宇宙の誕生については、これまでいろいろな仮説がありました。今、一番有力な仮説は、遠い遠い昔、ビッグバンという大爆発があつて、そのため宇宙が生まれたのだ、というものです。でも、これは仮説ですから必ずしも本当とは限りません。それでも、その

大爆発はいつたい何で起こったのでしょうか。  
うふうに、つかいます。

△（仮説の説。ある現象を説明するために、仮に立ててみた理論。「仮説が正しいことを証明した」などとい

うふうに、つかいます。）

△（仮の説。ある現象を説明するために、仮に立ててみた理論。「仮説が正しいことを証明した」などとい

うふうに、つかいます。）

△（仮の名。本名をかくして、仮につけた名前。「仮

名で応募する」などと、つかいます。）

△（仮名（日本で、漢字から作った文字。漢字のことを真

名といい、本物でない文字の意味でつけた名称）

△（本式でなく、ちょっと眠ること。うたたね）

△（うその病気。病気のふりをすること。「仮病をつかつても、すぐわかるよ」などと、つかいます。）